

【資料】平成29年度 1月 ふりかえりカード結果(児童)

それぞれの質問について、あてはまるものをひとつ選んで、回答のらんに○をつけてください。

番号	質問(しつもん)	回答(かいどう)			
1	学校に来るのは楽しいですか	楽しい 56.8%	どちらかといえば楽しい 33.0%	どちらかといえば楽しくない 7.4%	楽しくない 2.8%
2	誰にでも元氣よくあいさつしていますか	している 50.6%	どちらかといえばしている 43.8%	どちらかといえばしていません 5.1%	していない 0.6%
3	悪口をいったり、いじわるをしたりせず、友だちとなかよくすることができましたか	できた 70.2%	どちらかといえばできた 23.6%	どちらかといえばできなかった 4.5%	できなかった 1.7%
4	先生は私たちの話を聞いてくれましたか	聞いてくれた 71.6%	どちらかといえば聞いてくれた 23.9%	どちらかといえば聞いてくれなかった 4.0%	聞いてくれなかった 0.6%
5	担任の先生以外にも相談できる先生がいますか	いる 62.5%	どちらかといえばいる 26.1%	どちらかといえばいない 6.8%	いない 4.5%
6	自分に自信をもって行動することができましたか	できた 39.6%	どちらかといえばできた 45.5%	どちらかといえばできなかった 8.5%	できなかった 2.3%
7	一生懸命運動し、体力がつくように頑張りましたか	頑張った 80.5%	どちらかといえば頑張った 23.3%	どちらかといえば頑張らなかった 5.7%	頑張らなかった 0.6%
8	避難訓練や防犯教室に一生懸命参加しましたか	参加した 86.4%	どちらかといえば参加した 13.1%	どちらかといえば参加していない 0.0%	参加していない 0.6%
9	交通ルールなどを守って生活していますか	している 84.1%	どちらかといえばしている 15.3%	どちらかといえばしていない 0.6%	していない 0.0%
10	寝る時間や起きる時間を守って生活していますか	している 40.7%	どちらかといえばしている 41.8%	どちらかといえばしていない 12.4%	していない 5.1%
11	テレビを見たりゲームやスマホ等を使ったりする時間を決めていますか	決めている 44.3%	どちらかといえば決めている 19.9%	どちらかといえば決めていない 17.0%	決めていない 19.8%
12	学校の勉強は好きですか	好き 41.4%	どちらかといえば好き 39.7%	どちらかといえば嫌い 12.1%	嫌い 6.9%
13	学校の勉強はわかりますか	わかる 48.0%	どちらかといえばわかる 38.9%	どちらかといえばわからない 10.3%	わからない 2.9%
14	先生の話をよく聞いて、がんばって勉強できましたか	できた 64.2%	どちらかといえばできた 30.7%	どちらかといえばできなかった 4.5%	できなかった 0.6%
15	家で宿題や家庭学習を進んでいますか	している 65.3%	どちらかといえばしている 25.6%	どちらかといえばしていない 6.8%	していない 2.3%
16	家や学校で読書をしていますか	している 53.7%	どちらかといえばしている 26.9%	どちらかといえばしていない 9.7%	していない 9.7%

考察

○どの項目の質問についても、全体的には良好である。
 ○7月と比べ、「学校に来るのは楽しいですか」の項目については、「楽しい」と答えた児童が増加した。「楽しくない」と答えた児童はいなかった。
 ○「先生は私たちの話を聞いてくれますか」「避難訓練や防犯教室に一生懸命参加しましたか」「学校の勉強は好きですか」「学校の勉強はわかりますか」の項目については、「聞いてくれた」「参加した」「好き」「わかる」と答えた児童が増加した。
 ○「寝る時間や起きる時間を守って生活していますか」については、「している」と答えている児童の割合は低いが、7月に比べ改善してきている。
 ●「誰にでも元氣にあいさつをしていますか」について、7月よりもやや悪くなっている。今後も、あいさつの意義について児童会レベルでも考え、継続して取り組んでいく必要がある。
 ●「自分に自信をもって行動することができましたか」について、「できた」と答えた児童が学年によってばらつきがある。自分自身のよさに気付き、互いのよさを認め合い、何事にも自信をもって行動できるように支援していく必要がある。
 ●「家や学校で読書をしていますか」の自己評価が低く、7月に比べてもマイナス評価の児童が増えてきている。今後も、個に応じた指導をするとともに、学級活動等で十分に話し合ったり、家庭の協力を得て進めていったりする必要がある。
 ●どの学年も「寝る時間を守って生活していますか」「テレビをみたりゲームをしたりする時間をきめていますか」について、7月とほとんど変わっていない。一人一人の実態を捉え、全学年で学級活動の中で指導し、継続して改善に向けて取り組んでいく必要がある。また、保護者とともに取り組む必要があるため、十分に検討し学校と保護者が連携して取り組んでいかなければならない。
 ●項目により、マイナス評価をしている児童がいる。マイナス評価をしている児童一人一人に応じ、十分に話を聞いたり個別指導をしたりして、よりよい方向に向かえるようにしていく必要がある。